



學 穂

令和6年度 広州日本人学校

学校だより No.12

令和7年1月24日

発行責任者 校長 大久 耕

広州日本商工会様から補助金をいただきました



1月13日（月）に広州日本商工会会長の坂内様（みずほ銀行）がご来校され、「施設改善資金」として学校に補助をいただきました。

ご存じのように、本校は広州日本商工会により設立された学校です。学校理事会も商工会及びPTAにより運営されており、常日頃から学校運営に多大なる協力をいただいているります。

改めて広州日本商工会会員の皆様に感謝申し上げますとともに、教職員一同、広州で生活する子供たち、日本人社会の皆様の期待に応えられるよう励んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

なお、補助金は、教育活動に必要な備品の購入に充てる予定です。

中1宿泊学習 in 佛山市

3学期が始まって間もない1月9日 - 10日に、中学部1年生の宿泊学習を実施いたしました。

9月に予定されていたものですが、安全への配慮から延期をしておりました。また、活動先を佛山市に変更しての実施となりました。

今回メインとなった活動は、佛山市にある日系企業の訪問です。初日は、本田汽車零部件制造有限公司



様、2日目はアイシン車身零部件有限公司様にご協力いただき、会社見学と少人数での分科会（質問及び懇談）をもちました。分科会では、国外（中国）で働くことの苦労ややりがい、達成感などを聞かせていただいたり、就労（就職）先の決定に当たって考慮したことを質問したりと、生徒一人一人が目的意識をもって参加し、とても良い表情で活動を進めている様子がとても印象的でした。

また、佛山市は古くから焼き物と獅子舞の街としても知られています。「南風古灶」での陶芸体験や広東四名園「梁園」なども訪問し、嶺南文化にも触れてきました。

実施が危ぶまれておりましたが、生徒の訪問を受け入れていただいた企業様、そして実施に当たり、準備等にご協力いただきましたご家庭の皆様に感謝申し上げます。

ほーやん The Birthday !



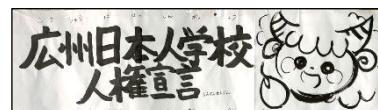
ほーやん、誕生！

ふんわりとしたスタイルと愛らしい表情で、全校児童生徒から愛されている学校キャラクターの「ほーやん」が、1月11日に4歳になりました。

ほーやんは、学校の合言葉である「AAA（トリプル_A：挨拶、安全、明るい笑顔）」の推進など児童生徒会活動で用いられたり、入学・編入学後間もない子供たちの緊張を和らげたり、広州日本人学校にはなくてはならない存在となっています。小学部の「1年生を迎える会」では、絵描き歌も披露されています。

ほーやんは、子供たちからの公募で誕生しました。4年生の時にキャラクターをデザインした中学部2年生のMさんは、「みんなから、こんなに親しまれるようになったことに驚いています。でも、とてもうれしいです。」と話してくれました。

Happy Birthday ほーやん！これからも、JSGの象徴として大事にしていきたいと思います。



転退学手続きについて（お願い）

今年度の授業日数もあと28日（小6、中3は27日）と、残り少なくなってきました。とても残念なことですが、年度末には多くの別れが待っています。それまでの1日1日が充実した日々となるよう、職員一同努めてまいります。

さて、転退学に際しましては、円滑に手続きが行えるよう、国内の学校間であれば郵送する書類の一部につきましても保護者の方にお渡しし、編入先にご持参いただいております。年度末は、大変多くの子供たちの在籍異動がございますので、転退学が決定いたら早目に担任までご連絡をお願いします。（学校の退学手続きとバス会の退会手続きが必要です。）

～ 学校長日記 ～

先日、校内を巡回しながら入った教室で、子供たちが社会科の勉強をしていました。「国際交流に取り組むまち」ということで、私の故郷が題材として取り上げられていました。

全く予想していなかったのですが、「校長先生の出身地だね。」といった途端に、子供たちから質問攻めに…。「どこの国の人が多いですか？」「街の表示は、何語で書かれていますか？」、「外国の人が買い物をする場所は、どんなところが多いですか？」など、内容は様々でした。すぐに答えられるものもあれば、聞かれてみるとあまり考えてみたことのないこともあります。対応に四苦八苦してしまいました。

「姉妹都市がたくさんあるけれど、どういうつながりがあるのですか？」と聞かれ、「姉妹都市」という言葉はよく耳にしますが、時々学生が行き来したり、議員団が視察に行ったりする以外は思いつかず。校長室に戻ってから、姉妹都市と友好都市の違いや、その役割などを改めて確認したのでした。

子供たちとともに、私の勉強もまだまだ続きます。